



九州自然歩道の旅 ㊤

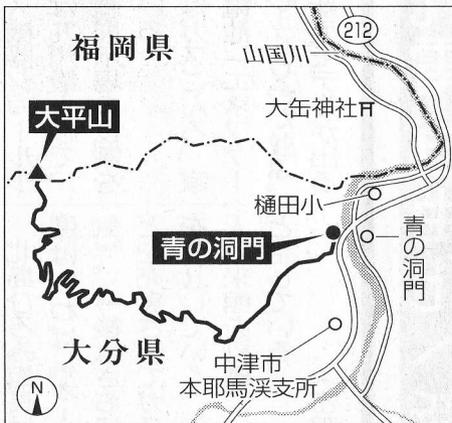
福島 優

前回(8月26日付)は、全長約3千キロの「九州自然歩道」の福岡、大分県境に連なる雁股山(807㍎)から大平山(597㍎)までの歩き旅でした。今月からは、いよいよ大分県へと歩を進めます。

大分は湧出量、源泉数ともに日本一の「温泉県」。別府や由布院をはじめ、日田、宝泉寺、筋湯、天ヶ瀬、長湯などさまざまな地域にそれぞれ特色がある温泉があります。他にも豊後牛やシイタケ、カボスなど食の面からもそそるものがあります。

さまざまな特色を持った大分の九州自然歩道は県西部の山々を乗り越えていくルート。「大分の山」と聞いて思い浮かぶの

大平山—青の洞門

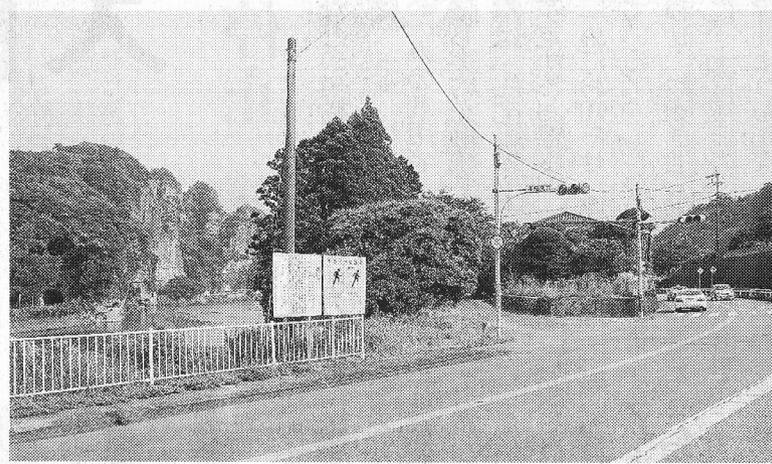


※白抜き文字の「青の洞門」は自然歩道のポイント名

温泉や食が魅力、大分へ

がやはり九重連山ですね。九州に限らず日本中の登山家から親しまれている九重連山は、大分県を代表する登山スポットです。それは、これから進む九州自然歩道の大方ルートを北から紹介します。大平山から景勝地「青の洞門」(中津市本耶馬溪町)へ。そこから玖珠町の伐株山(685㍎)、万年山(1140㍎)を越え、宝泉寺や筋湯などの温泉地を通り九重登山口となる長者原(九重町)に到着します。

九重連山は雨ヶ池コースか



㊤大平山から下りてきたらこんなかわいい看板が!
㊦青の洞門に到着。ここから川沿いを歩いていきます

ら、坊がつる(竹田市久住町)に行き、九州で最も高い場所にある温泉として古くから登山者に親しまれてきた法華院温泉山荘を右手に銚立峠を越えて、ガーンジーファームなどがある久住高原へと下ります。そしてラムネ温泉館がある長湯(同市直入町)を通り、湧き水が豊富な竹田に着きます。竹田からは神原地域を通り、祖母山(1756

人の営みが見られる所を歩くこととなります。ここから1キロほど歩けば、青の洞門への入り口となる橋に到着です。近くの「農家レストラン洞門パティオ」でおいしいご飯をいただきます!

今回は、大分県のコース概要をご紹介します。大平山から青の洞門までの約5キロ、2時間の旅でした。次回は青の洞門から羅漢寺に向かいます。

(九州自然歩道フォーラム会員 福岡市)

毎月第3水曜掲載